

Sustainable Report No.125

ゴルフ場での 自然と人の共存



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

- FAO（国連食糧農業機関）の2018年の調査によると、日本の農薬使用は農地1ヘクタール当たり11.8kg。2022年に、**農作物、家畜や生活環境動植物等に対する被害が17件**だった。
- **便利さから適量以上の農薬を散布**してしまうことが原因とされる。
- **農薬が残った状態の食材を食べ続けることで人にも影響を与え**、めまいや吐き気、皮膚のかぶれ、発熱、喉の渇きといった身体的症状が現れる可能性があり、2020年に農薬により39人が亡くなっている。

■ 農作物、家畜及び生活環境動植物等に対する被害

被害対象	年度					
	H30	R1	R2	R3	R4	
農作物	7	8	12	8	11	
家畜	0	0	0	0	1	
蚕	0	0	0	0	0	
魚類	5	7	9	5	5	
その他	0	0	0	0	0	
計	12	15	21	13	17	

出典：農林水産省

■ 農薬の濃度変化と人への暴露



出典：JCPA農薬工業会

▶ NEXT：筑波東急ゴルフクラブ、生物多様性保全に貢献

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 茨城県つくば市にある「筑波東急ゴルフクラブ」は、**東急不動産と東急リゾート&ステイが運営**。
- 2024年3月28日にゴルフ場やスキー場の**生物多様性の保全に貢献する「G認証」**（二次的自然環境保全型ハビタット認証）を取得。草刈の頻度を減らし、農薬を使わない土地が全体の5%以上を占める。
- G認証を取得していても**95%程度は農薬を使用**。人が使用するところでも農薬散布を抑えられるかどうか懸念される。

■ 筑波東急ゴルフクラブ



出典：東急不動産株式会社

■ 生物多様性保全型の管理



出典：日本生態系協会

▶NEXT：虫がいてもいい環境づくりで、自然と人の共存共栄へ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- ゴルフ場などの人が使用する場所においては、コースに穴をあけたり人に害を与えたりするなど、蜂や蚊をはじめ**害虫による影響が問題視**されて農薬散布に繋がる。
- 人が使用する自然に対しても、農薬を使用しない場所が広がることが理想である。
- 農薬を使わずに虫がいてもいい環境を目指して**虫が避けていく衣類を施設が貸し出し**たり、夜間は**防蛾灯などの虫が自然と避けていくものを活用**することが期待される。

■ 芝生の害虫例



出典：清澄ゴルフ倶楽部

■ 着る防虫



出典：株式会社ティムコ

■ 防蛾灯のイメージ



出典：毎日新聞

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 農林水産省, 「令和4年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況について」, 2024年1月31日
(<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/240131.html>)
- JCPA農薬工業会, 「農薬が人に及ぼす影響や安全性などについて」, 2022年3月 (https://www.jcpa.or.jp/qa/a1_01.html)
- 東急不動産株式会社, 「事業におけるネイチャーポジティブへの貢献 第4弾「筑波東急ゴルフクラブ」にて生物多様性保全に関する新規認証制度「G認証」を取得」, 2024年3月25日 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000296.000006953.html>)
- 日本生態系協会, 「日本初「G 認証」が開始 ゴルフ場やスキー場の生物多様性の保全に貢献する認証制度 「筑波東急ゴルフクラブ」が第一号を取得」, 2024年3月25日 (https://www.ecosys.or.jp/img/news/2024/20240325_pressrelease.pdf)
- 清澄ゴルフクラブ, 「芝生の害虫」, 2008年08月02日 (<https://www.kiyosumi-golf.co.jp/column/%E8%8A%9D%E7%94%9F%E3%81%AE%E5%AE%B3%E8%99%AB/>)
- 株式会社ティムコ, 「着る防虫」, 2024年7月25日参照 (<https://www.foxfire.jp/scoron/>)
- 毎日新聞「加賀のガなしで 美味しいナシ 石川の梨園」, 2016年9月14日
(<https://mainichi.jp/graphs/20160914/hpi/00m/040/006000g/20160914hpi00m040102000q>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。